

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

エイズ治療・研究開発センター/臨床研究開発部門

令和 8 年度 ACC e-learning

募集要項・シラバス



2026 年 5 月 20 日

内容

エイズ治療・研究開発センター（ACC）について	1	歯科医療従事者コース	7
診療科の特徴	1	周産期小児コース	7
薬害エイズとは	1	募集期間及びライブ講義日程（テーマ別）	8
ACC 研修について	2	申込方法	8
コース概要	2	修了認定（総合・テーマ別）受講の流れ	9
コース紹介：一般視聴	3	個人情報の取扱い及び著作権について	11
一般視聴	3	プライバシーポリシー（個人情報保護方針）	11
申込方法	3	著作権	12
コース紹介：修了認定（総合）	4	よくあるご質問	13
基礎コース	4	申込みについて	13
応用コース（職種別）	4	受講について	14
募集期間及びライブ講義日程（総合）	5	受講後レポートについて	14
申込方法	5	単位認定について	14
基礎コース看護 Plus	6	動画視聴について	15
申込方法	6	➤ HIV 感染症とその合併症 診療と治療ハンドブック	16
コース紹介：修了認定（テーマ別）	7	➤ からだ・こころ・くらし・くすりノート	16
心理職（カウンセラー）コース	7		
地域支援者コース	7		

2026 年 5 月 20 日 初版

エイズ治療・研究開発センター（ACC）について

エイズ治療・研究開発センターの理念

患者の人権と尊厳を重視した「患者中心」の医療を心がけ、高度かつ最先端の医療を実践します。

1. 多職種からなる医療チームで情報を共有し、安全かつきめ細やかな医療を目指します。
2. 安心・納得して医療を受けられるよう、病状や治療内容についての分かりやすい説明を心がけます。
3. 国内外の最先端医療を積極的に取り入れ、最高レベルの医療の提供を目指します。

エイズ治療・研究開発センター（AIDS Clinical Center, ACC）は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害者救済の一環として 1997 年 4 月 1 日、国立国際医療センター（当時）に設置されました。ACC は外来・病棟・治療開発室・医療情報室の 4 部門からなり、国内外の HIV 感染症治療・研究機関との連携のもと、HIV 感染症に対する高度かつ最先端の医療提供とともに、新たな診断・治療法開発のための臨床研究・基礎研究を行っています。また、日本における HIV 感染症の医療水準向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者・地域支援者に対する研修を行っています。

診療科の特徴

医師、外来・病棟看護師、HIV コーディネーターナース、薬剤師、心理療法士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等の多職種によるチームできめ細やかな HIV の包括的な診療を行っています。

また、医療従事者・地域支援者を対象として HIV 感染症の基礎から応用まで、レベルに応じて学べる各種研修を定期的実施しています。

薬害エイズとは

1980 年代初め、血友病などの血液凝固因子異常症の患者に HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の混入されていた輸入非加熱血液凝固因子製剤が投与され、HIV に感染した薬害被害の事です。

当時多くの患者に HIV 感染が告知されていなかったため、妻や子供への二次・三次感染も引き起こしました。日本の薬害エイズ被害患者は 1,433 名、約 40 年が経過し既に半数が亡くなり、生存者数は 447 名と報告されています（令和 7 年度血液凝固異常症全国調査より）。1990 年代はエイズ発症による死亡が多くみられましたが、それ以降、HIV/HCV 重複感染による肝硬変や肝がんの死亡が多い中、近年、生活習慣病の合併、頭蓋内出血例がみられています。

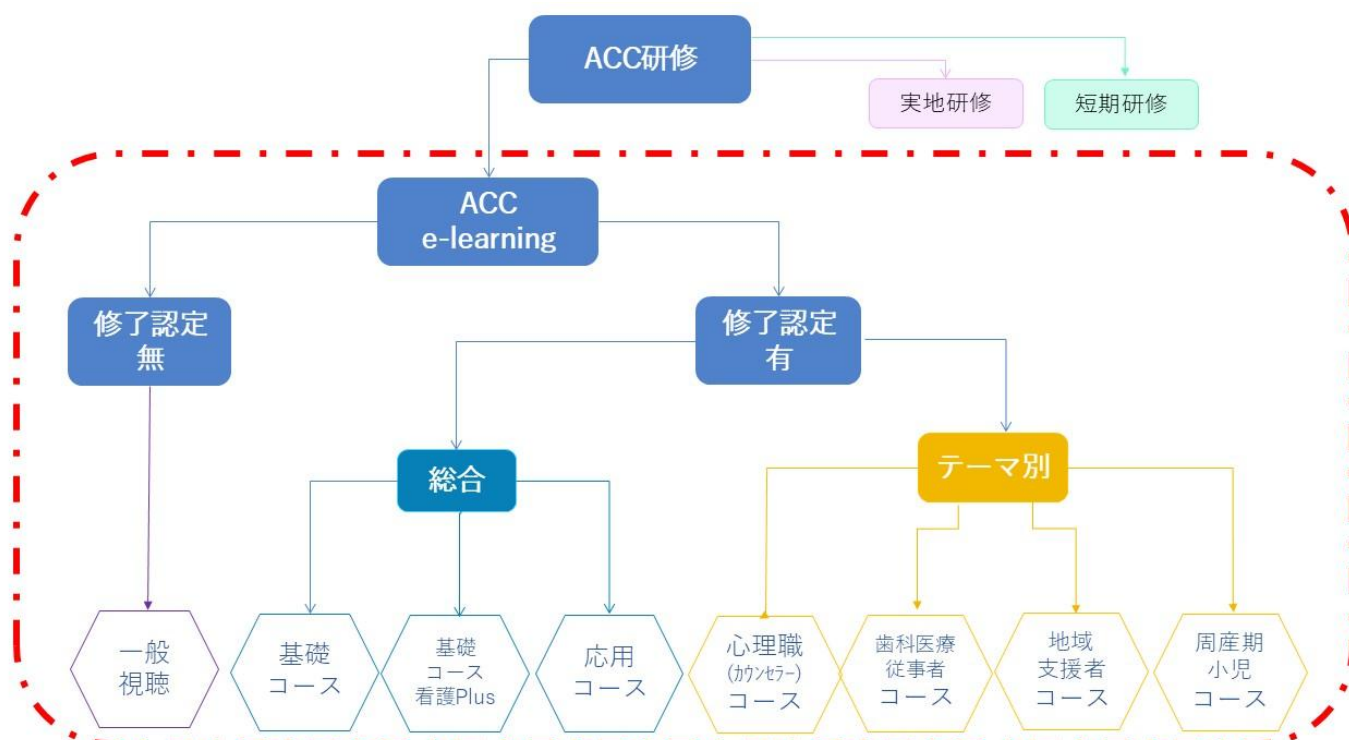
1989 年、東京/大阪 HIV 訴訟原告団と弁護団は、東京と大阪の地方裁判所に旧厚生省と製薬企業 5 社に対し被害の責任を問い提訴し、1996 年 3 月 29 日に和解が成立しました。

ACC 研修について

ACC では、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成及び全国ネットワークの構築を目的に、HIV の基礎から応用までレベルに応じて学べる研修を実施しています。2019 年頃より流行した新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、2021 年度より研修形態を対面式からオンライン研修（e-learning）に移行して実施しております。

本募集要項は、ACC e-learning に関連する案内となります。

コース概要



コース紹介：一般視聴

一般視聴

概要 | HIV 感染症・AIDS 診療の基礎知識や治療について学ぶ

対象 | 初めて HIV 感染症診療に携わる医療従事者等

動画時間 | 9 時間半程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 7 月 1 日（水）より随時申込み

（視聴期間は、申込み後令和 9 年 3 月末までを予定）

費用 | 無料

取得できる単位 | なし

留意事項 | 基礎コースと同内容のオンデマンド講義動画をご視聴いただけますが、視聴後の修了証の発行はいたしません。

※「一般視聴」はオンデマンド講義動画の視聴のみで、ライブ講義は含まれません。



申込方法

以下の申込先よりお申込みください。

申込先	https://el-acc-entry.jihs.go.jp
-----	---

留意事項 |

- お申込みの際に医療従事者であることを確認するため、**身分確認証**（所属施設からの推薦状、所属施設職員証の写し、医療職免許の写しの内いずれか）をご提出いただきますのでご了承ください。

（※職員証はフルネームの記載があり、所属機関によりその身分が証明されたものに限る。名刺不可。）

研修事務局にて内容確認を行いますので、オンデマンド講義動画の視聴開始まで1～2週間程度お時間をいただく場合がございます。

コース紹介：修了認定（総合）

基礎コース

概要 | HIV 感染症・AIDS 診療/研究の基礎知識について学ぶ

対象 | 初めて HIV 感染症診療に携わる医療従事者で、日本エイズ学会等へ単位認定を希望し、ACCe-learning の修了認定を目指す方

定員 | 前期 50 名、後期 80 名（各日程 40 名ずつ）

動画時間 | 9 時間半程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 前期（7－9 月）、後期（10－翌年 3 月）

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会 認定医／指導医 申請予定

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師 申請予定

日本エイズ学会・日本病院薬剤師会 認定薬剤師／専門薬剤師

留意事項 | 同一コースを 2 年連続で受講することはできません。

応用コース（職種別）

概要 | 職種毎の専門的な知識についてより理解を深め、技術を高める

対象 | **令和 3 年（2021 年度）から令和 8 年度（2026 年度）に ACC e-learning 基礎コースを修了した者のうち、HIV 感染症の診療や対策に継続的に従事する医師、薬剤師、看護師**

定員 | 医師・薬剤師あわせて 前期・後期 各日程 18 名
看護師 前期・後期 各日程 6～9 名

動画時間 | 7 時間程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 前期（7－9 月）、後期（10－翌年 3 月）

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会 認定医／指導医 申請予定

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師 申請予定

日本エイズ学会・日本病院薬剤師会 認定薬剤師／専門薬剤師

留意事項 |

1. 同一コースを 2 年連続で受講することはできません。
2. **応用コース（看護師）は、HIV 診療領域で実務をおこなっている看護師を対象とした研修です。**

受講枠に制限がありますので、現在 HIV 感染症患者への対応をしている方を優先して受講いただいております。

定員に達した場合、選考により受講決定となりますので、ご期待に添えない場合がございます。予めご了承ください。

※普段、HIV 患者へ携わる機会が少ない方は、基礎コース看護 Plus（6 頁）の受講をご検討ください。



募集期間及びライブ講義日程（総合）

前期	修了認定（総合）
募集期間：2026年7月1日(水)10時～2026年7月10日(金)16時まで	
募集コース：● 基礎コース ● 応用コース（職種別：医師,薬剤師,看護師）	
ライブ講義日程	
● 基礎コース	
2026年9月8日(火) 14時45分～16時00分	
● 応用コース	
2026年9月10日(木) ※ 職種により時間が異なるため、シラバスをご確認ください。	

後期	修了認定（総合）
募集期間：2026年10月1日(木)10時～2026年10月9日(金)16時まで	
募集コース：● 基礎コース ● 応用コース（職種別：医師,薬剤師,看護師）	
ライブ講義日程 ※ A又はB日程のどちらかへ参加すること	
● 基礎コース	
A日程：2026年12月15日(火) 14時45分～16時00分	
B日程：2027年 2月 2日(火) 14時45分～16時00分	
● 応用コース	
A日程：2026年12月17日(木) ※ 職種により時間が異なるため、シラバスをご確認ください。	
B日程：2027年 2月 4日(木)	

申込方法

各コースのシラバスをご覧のうえ、希望する期の募集期間内に、以下の申込先よりお申込みください。

申込先	https://el-acc-entry.jihs.go.jp
-----	---

基礎コース看護 Plus

概要 | 基礎コースに加え、HIV 患者への支援について、一步深める

対象 | 令和 3 年（2021 年度）から令和 8 年度（2026 年度）に ACC e-learning 基礎コースを修了した者

定員 | なし

動画時間 | 2 時間程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 7 月 1 日（水）より随時申込み（最終申込締切は 12 月 15 日（火））

受講期間は受講開始から 3 カ月間

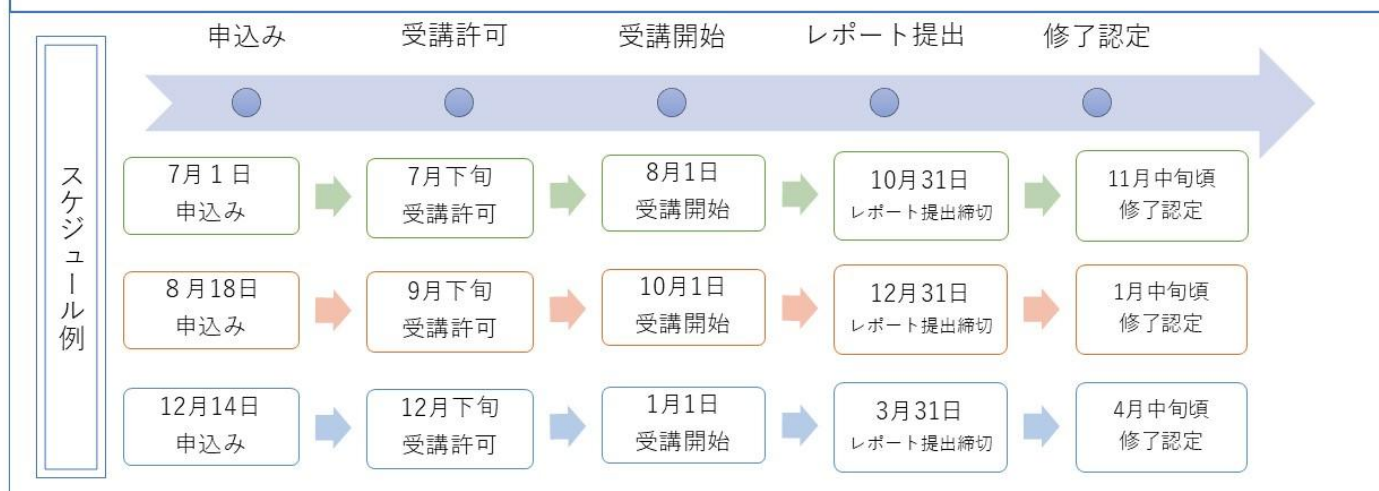
（毎月 1 日～15 日申込みは、翌月 1 日から受講開始、16 日～末日申込は、翌々月 1 日から受講開始）

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会認定制度研修会 看護師基礎 1 日（5 点） 申請予定

修了認定（総合）《基礎コース看護 Plus》

募集期間：2026年7月1日(水)10時～2026年12月15日(火)17時まで



申込方法

以下の申込先よりお申込みください。

申込先	https://el-acc-entry.jihs.go.jp
-----	---

コース紹介：修了認定（テーマ別）

心理職（カウンセラー）コース

概要 | HIV 感染症診療に携わる心理職・カウンセラーを対象に、HIV 感染症の基礎知識、
HIV 陽性者の心理とメンタルヘルスについて学ぶ基礎コース

対象 | HIV 感染症診療に従事するか従事する可能性のある臨床心理士・公認心理師等

定員 | 15名 動画時間 | 5時間程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 8 - 10月

費用 | 無料

取得できる単位 | 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会が定める資格更新ポイント

地域支援者コース

概要 | 長期生存時代の HIV 感染者の在宅療養支援や多職種連携について学ぶコース

対象 | HIV 感染者の療養支援に従事する（その可能性のある）MSW、看護師、訪問看護師、
ケアマネジャー等

定員 | なし 動画時間 | 3時間程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 8 - 10月

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師
申請予定

歯科医療従事者コース

概要 | HIV 感染症診療に携わる歯科医療従事者を対象に、HIV 感染症に関する歴史・背景と支援方法、
歯科診療時に必要な知識を学ぶ

対象 | 歯科医療従事者

定員 | 15名 動画時間 | 3時間半程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 8 - 10月

費用 | 無料

取得できる単位 | なし

周産期小児コース

概要 | 日本での HIV 母子感染予防対策のマニュアルやガイドラインに基づき、HIV 感染症の産科、
小児科領域の知識について学ぶ

対象 | HIV 感染者の診療をおこなう医療従事者（特にリプロダクティブヘルスに関するケアに従事する者）

定員 | 50名 動画時間 | 2時間半程度 詳細は巻末のシラバスをご確認ください。

期間 | 8 - 11月

費用 | 無料

取得できる単位 | 日本エイズ学会 認定医・指導医 申請予定

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師申請
予定

日本周産期・新生児医学会 専門医（旧制度） 申請予定

募集期間及びライブ講義日程（テーマ別）

修了認定（テーマ別）

募集期間：2026年8月3日(月)10時～2026年8月12日(水)16時まで

募集コース： ● 心理職（カウンセラー）コース
● 地域支援者コース
● 歯科医療従事者コース
● 周産期小児コース

ライブ講義日程

- 心理職（カウンセラー）コース
2026年10月1日(木) 14時00分～15時30分
- 地域支援者コース
2026年10月15日(木) 14時00分～15時30分
- 歯科医療従事者コース
2026年10月26日(月) 16時00分～17時00分
- 周産期小児コース
2026年10月30日(金) 14時00分～15時00分

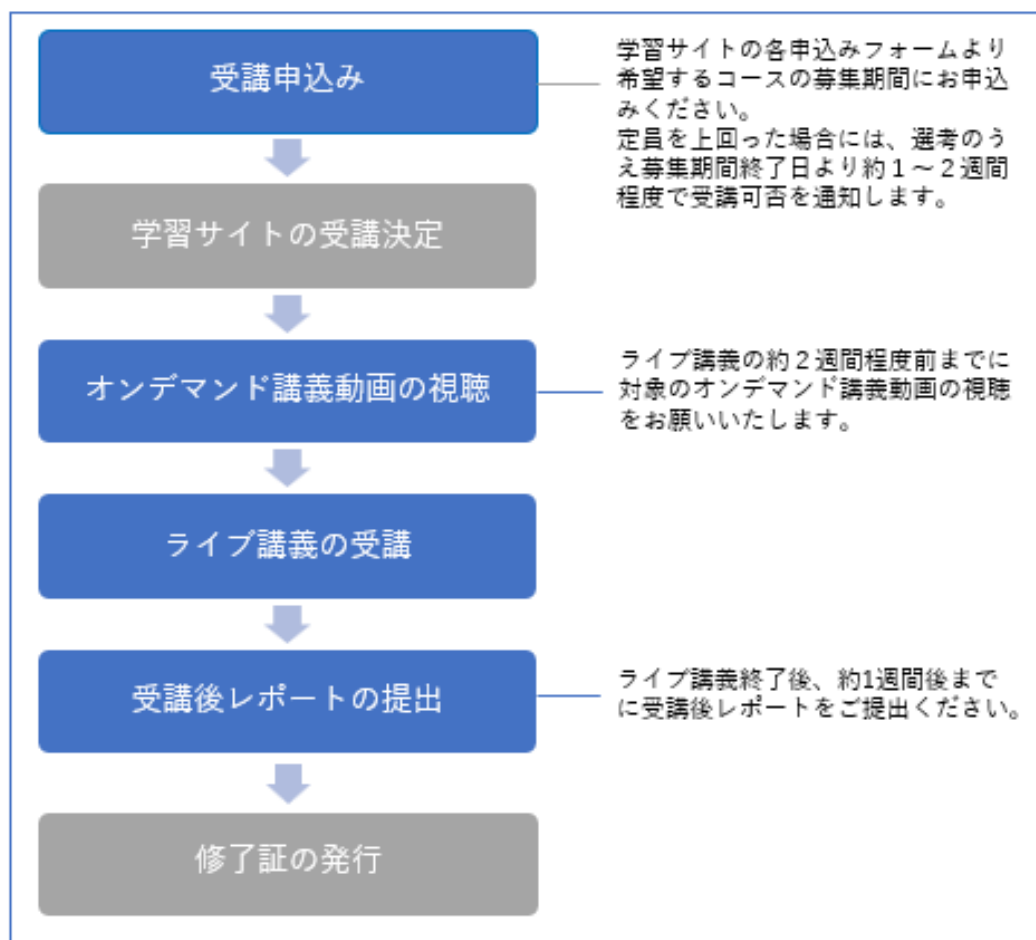
申込方法

各コースのシラバスをご覧のうえ、募集期間内に、以下の申込先よりお申込みください。

※テーマ別において同一コースを2年連続で受講することはできません。

申込先 URL	https://el-acc-entry.jihs.go.jp
---------	---

修了認定（総合・テーマ別）受講の流れ



留意事項

- お申込みの際に医療従事者であることを確認するため、**身分確認証**（所属施設からの推薦状、所属施設職員証の写し、医療職免許の写しの内いずれか）をご提出いただきますのでご了承ください。
（職員証はフルネームの記載があり、所属機関によりその身分が証明されたものに限る。名刺不可。）
- 修了認定（総合・テーマ別）は、各コースの定員を上回った場合には、選考のうえ募集期間終了日より約1～2週間程度で受講可否をご連絡いたします。募集期間外のお申込みはお受けいたしかねます。
- オンデマンド講義動画の視聴期限、及びライブ講義修了後の受講レポートの入力期限は別途お知らせいたします。
- 指定期限までにオンデマンド講義動画の視聴が完了しない場合は、ライブ講義へご参加いただけませんので、何卒ご了承ください。
- クループワークを行うコースについては、ライブ講義を無断欠席すると同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2年間研修受講停止となりますので、何卒ご了承ください。
（※グループワークを行うコース：応用コース、心理職（カウンセラー）コース、地域支援者コース）

- 「基礎コース看護 Plus」については、ライブ講義はなく、オンデマンド講義動画視聴後、レポートを提出し、修了認定となります。

問合せ先 |

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターACC 研修事務局

TEL：03-3202-7181（代表）

問合せフォーム：<https://forms.office.com/r/Ab5xTtAP3L>

※ お問合せの際は、必ず所属施設名、氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

※ お問い合わせは、至急の場合を除き、問い合わせフォームからお願いいたします。

個人情報情報の取扱い及び著作権について

プライバシーポリシー（個人情報保護方針）

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター（以下「当センター」といいます。）は、当センターが運営するオンライン講座（以下「本サービス」といいます。）において、利用者の皆様（以下「会員」といいます。）の個人情報、「個人情報の保護に関する法律」（以下「個人情報保護法」という。）その他関連法令及び各種ガイドラインを遵守し、以下に基づき、適切な取扱い及び保護に努めます。

第 1 条（個人情報の定義）

本サービスにおける「個人情報」とは、個人情報保護法第 2 条第 1 項に定める情報をいい、氏名、生年月日、連絡先（電話番号、電子メールアドレス等）、その他記述、符号、画像又は音声等により、特定の個人を識別できる情報を指します。

2 単独では個人を識別できない情報であっても、他の情報と容易に照合することにより特定の個人を識別できるものについては、個人情報として取扱いします。

3 当センターは、本サービスにおいて、Cookie その他の類似技術（以下「cookie 等」といいます。）により取得される情報のうち、個人情報保護法第 2 条第 7 項に定める個人関連情報を取り扱う場合があります。

第2条（取得する情報の範囲）

当センターは、本サービスの提供及び運営に必要な範囲において、法令を遵守し、適法かつ適正な方法により、会員の個人情報を取得します。また、本サービスでは、利用状況の把握及び改善を目的として、Cookie 等を通じて情報を取得する場合があります。

第 3 条（個人情報の利用目的）

当センターは、取得した個人情報を、次に掲げる目的の達成に必要な範囲内で利用します。

- 一 本サービスの提供及び運営
- 二 HIV 感染者及び AIDS 患者への医療提供を目的とした他医療機関等との連携

三 講座案内、運営に関する連絡、規約変更等の各種通知

四 会員本人の確認及び認証

五 お問い合わせ対応

六 利用状況の把握、統計、分析（個人を識別できない形式によるもの）

七 新機能・新サービスの企画及び開発

八 システムの維持改善、セキュリティ確保及び障害対応

九 応募時にご提供いただいた情報や受講後レポートの感想等を利用したサービス改善、運営の向上及び広報その他当センターの活動に関連する業務

2 利用目的を変更する場合には、変更前の利用目的と合理的関連性を有する範囲内で行い、変更内容を会員に公表又は通知します。

第 4 条（個人情報の第三者提供）

当センターは、次に掲げる場合を除き、個人情報を第三者に提供しません。

- 一 会員の同意がある場合
- 二 法令に基づく場合
- 三 人の生命、身体又は財産の保護のために必要があり、会員の同意を得ることが困難な場合
- 四 公衆衛生の向上又は児童の健全育成の推進のため特に必要があり、会員の同意を得ることが困難な場合
- 五 国の機関又は地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行す

ることに協力する必要がある場合

2 外国にある第三者に個人情報を提供する場合には、個人情報保護法に基づき、必要な措置を講じます。

第5条（個人情報提供の任意性）

会員による個人情報の提供は任意ですが、当センターが求める必要事項をご提供いただけない場合には、本サービスの全部又は一部を利用できないことがあります。

第6条（安全管理措置）

当センターは、個人情報の漏えい、滅失又は毀損（以下「漏えい等」といいます。）の防止その他安全管理のため、組織的、人的、物理的及び技術的な安全管理措置を講じます。ただし、本サービスを利用するに当たって取得するアカウント、パスワードの管理は、会員の自己責任で管理していただくものとします。

2 個人情報の取扱いを委託する場合は、委託先に対して適切な監督を行います。

第7条（保有個人情報に関する開示等の請求）

会員は、当センターが保有する自己の保有個人情報について、個人情報保護法に基づき、開示、訂正、追加、削除、利用停止又は第三者提供停止を請求することができます。

当センターは、所定の手続により本人確認を行ったうえで、法令に従い、適切に対応します。

第8条（漏えい等発生時の対応）

当センターは、個人情報の漏えい等が発生し、又は発生したおそれがある場合には、個人情報保護委員会への報告及び会員への通知を、法令に従い速やかに行います。

第9条（Cookie 等の利用）

本サービスでは、利用状況の把握及びサービス向上を目的として、Cookie 等を利用する場合があります。これらにより取得される情報は、原則として個人を直接識別するものではありません。

2 会員は、ブラウザ設定により Cookie の利用を制限又は無効化できます。ただし、Cookie を無効化した場合、本サービスの一部機能が利用できない場合があります。

第10条（セキュリティ）

当センターは、通信の安全性を確保するため、SSL/TLS 等の暗号化技術を使用し、第三者による不正アクセス防止に努めます。

第11条（プライバシーポリシーの改定）

当センターは、法令の改正又は運用状況の変更その他必要に応じて、本ポリシーを改定することがあります。重要な変更がある場合には、本サービス上で公表します。

第12条（お問い合わせ窓口）

個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、ACCe-learning 事務局までご連絡ください。

著作権

当サイトに掲載されるコンテンツ（文章・資料・画像・音声等）の著作権は、特に記載のない限り、当センター又は権利者に帰属し、営利、非営利を問わず、無断で複製・転載・販売等の二次利用を行うことは禁止します。

2 当サイトに表示される商標・ロゴ・サービスマークは、当センターまたは権利者に帰属し、無断使用を禁止します。



よくあるご質問

申込みについて

Q1：申込みから受講開始までの期間を教えてください。

A1：一般視聴は、申込完了から、受講開始まで約1～2週間程度のお時間をいただきます。

修了認定（総合・テーマ別）は、募集期間終了後より選考を行いますので、募集期間終了後より約1～2週間程度で受講開始予定です。ただし、「基礎コース看護 Plus」については、別途スケジュールを記載しておりますので、募集要項のコース案内ページをご確認ください。

Q2：一般視聴と基礎コースの違いはなんですか？

A2：一般視聴は、オンデマンド講義動画視聴のみのコースで、申込年度の3月末（予定）まで、ご自身の好きなタイミングで動画を視聴いただけます。ただし、すべての講義動画視聴を完了しても、修了証の発行はございません。

基礎コースは、決められたスケジュールの中で、オンデマンド講義動画を視聴いただき、ライブ講義への参加、受講後レポートの提出が必要なコースです。受講後レポートの提出後、修了証を発行いたします。

Q3：オンデマンド講義動画のみ視聴は可能ですか？

A3：その場合は、一般視聴をお申込みください。一般視聴では、基礎コースと同内容のオンデマンド講義動画をご覧いただけます。その他のコースは、ライブ講義への参加や受講後レポートの提出が必要となります。

Q4：ACC e-learning になる以前の対面研修で、基礎コースを受講しました。応用コースの受講はできますか？

A4：過去に対面研修をご受講済みであった場合でも、応用コースのご受講はお受けいたしかねます。HIV感染症の治療は日々変化しており、講義内容も随時見直しを行っています。大変恐縮ではございますが、修了認定（総合）の基礎コース受講をご検討ください。

Q5：医療従事者ではないですが、受講できますか？

A5：医療従事者向けの講義内容でございますので、事前に研修事務局までご相談ください。

Q6：診療科内の複数名でオンデマンド講義動画を視聴したいのですが、可能ですか？

A6：一般視聴については、代表者1名の登録（グループメールアドレスの使用）で差し支えありません。修了認定を希望される場合には、受講歴管理のため個々（個人のメールアドレス）でのご登録をお願いいたします。

受講について

Q1：受講に係る費用は無料ですか？

A1：無料で受講いただけます。ただし、オンデマンド講義動画の視聴やライブ講義の参加にかかる通信料は、受講生へご負担いただきます。

Q2：基礎コースの全講義を見終わるのに、どのくらい時間がかかりますか？

A2：オンデマンド講義動画1講義の視聴にかかる時間は約15～20分です。全講義は約9時間半程度です。詳しくは、巻末のシラバスをご確認ください。

Q3：受講の際にスライド資料はダウンロードできますか？又は、講義資料はもらえますか？

A3：大変申し訳ございませんが、資料のダウンロードはできません。また、講義中の資料につきましても原則配布は行っておりません。次項『参考文献など』をよろしければご活用ください。

Q4：修了認定の要件であるライブ講義へ参加ができないかもしれません。どうすればよいですか。

A4：ライブ講義へご参加が難しい場合は、なるべく早く研修事務局へご相談ください。

別日程への振替調整をいたしますが、定員の関係で受講中断となる場合がございますので、ご了承ください。（振替は原則翌年度までお受けいたします。）

なお、ライブ講義を無断欠席された場合には、2年間研修受講停止となるコースがございますので、ご注意ください。

受講後レポートについて

Q1：レポートとは具体的にどのようなものですか？文字数指定はありますか？

A1：ライブ講義終了後、100字程度でライブ講義に対するご意見及びACC e-learning 全体に対するご意見を記載いただく予定です。

Q2：以前参加したライブ講義のレポートを後から提出することで、修了認定となりますか？

A2：受講後レポートは、各回で提出期日（ライブ講義修了後より1週間程度）を設定しています。この期日を超過した場合には、修了認定をいたしかねます。

単位認定について

Q1：認定要件について教えてください。

A1：各コースにより修了認定要件は異なります。詳細は各団体のホームページをご覧ください。

Q2：認定資格を日本エイズ学会へ申請予定です。基礎コース受講により得られる点数について教えてください。

A2：基礎コースは、計11時間（オンデマンド講義動画9.5時間+ライブ講義1.5時間）の構成です。
日数で換算すると2～3日に該当します。

Q3：単位申請に関する問合せはどこにしたらいいですか？

A3：ACC e-learning 受講後の単位申請に関するご質問は、申請先である学会へお問合せください。また、学会への単位申請はご自身での申請をお願いいたします。

動画視聴について

Q1：令和7年度受講したコースの動画を令和8年度も引き続き視聴したいのですが視聴可能ですか？

A1：原則、単年度での視聴期限を設けておりますので、お受けいたしかねます。

「一般視聴」のみ継続での同一コースの視聴が可能ですので、申込先からお申込みください。

参考文献など

ACC e-learning では、HP で公開を行っている資料・資材の一部を使用しています。
よろしければ学習にお役立てください。

➤ HIV 感染症とその合併症 診療と治療ハンドブック

監修：岡 慎一（ACC 名誉センター長） 編集：照屋 勝治（臨床研究開発部長）

URL：<https://www.acc.jihs.go.jp/medics/treatment/handbook/>



➤ からだ・こころ・くらし・くすりノート

URL：<https://www.acc.jihs.go.jp/general/note/>



（以下余白、次項よりシラバス）

コース名	基礎コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和８年５月	総講義時間	約１１時間
定員数	前期５０名／後期８０名（各日程４０名ずつ）		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、基礎コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定医／指導医 申請予定 日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師 申請予定 日本エイズ学会・日本病院薬剤師会 認定薬剤師／専門薬剤師			
講義の概要とねらい			
初めてHIV感染症診療に携わる医療従事者、すでにHIV感染症診療に携わっている医療従事者を対象に、最新のHIV感染症の基礎知識や治療について学ぶ			
到達目標			
・全３７講義を視聴し、自分の専門領域で患者支援に必要なHIV感染症に関する知識を習得する ・HIV感染症診療を取り巻く、多職種連携の患者支援のあり方を理解する ・講義の受講を通して、新たな気づきや疑問を持ち、それについて考察できている			
プログラム			
① オンデマンド講義動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:06:55
	HIV感染症概論		0:27:30
	HIV感染症の診断		0:13:14
	HIV感染症の告知		0:06:19
	初診時評価		0:15:07
	抗HIV療法導入		0:09:04
	抗HIV薬の特徴①		0:17:38
	抗HIV薬の特徴②		0:14:31
	薬物相互作用の考え方		0:17:05
	曝露後予防		0:25:20
	曝露前予防		0:25:38
	日和見疾患 総論①		0:10:00
	日和見疾患 総論②		0:11:05
	日和見疾患 総論③		0:13:37
	A型肝炎		0:06:10
	B型肝炎		0:12:06
	C型肝炎		0:13:33
	アメーバ赤痢		0:25:16
	ヒトパピローマウイルス（HPV）		0:11:05
	梅毒		0:16:16
	淋菌感染症・男性尿道炎		0:10:18
	血友病 概論①		0:15:29
	血友病 概論②		0:11:21
	HIV感染症診療における看護師の役割		0:13:25
	HIV診療 入院時の対応		0:16:08

プログラム			
① オンデマンド講義動画視聴			
	(講義動画名)		(時間)
	HIV診療 外来受診時の対応		0:18:22
	療養支援 患者教育と服薬支援		0:24:05
	HIV診療における薬剤師の役割①		0:14:52
	HIV診療における薬剤師の役割②		0:13:23
	HIV診療における社会資源の活用		0:22:17
	HIV診療における心理職の役割① HIV感染症と精神疾患		0:21:30
	HIV診療における心理職の役割② 心理職の役割		0:12:14
	HIV感染症診療におけるメンタルヘルスケア		0:12:08
	薬害HIV感染者の現状と救済医療		0:23:06
	世界のエイズ対策		0:13:54
	HIV感染者に対するワクチン		0:14:32
	治療失敗時の対応		0:10:10
		(合計)	9:24:43
② ライブ講義（多職種の講師複数名によるQ&Aセッション）			1:15:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約100字程度で作成）			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 ※各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します			
【前期】 日程： 令和8年 9月 8日（火）14時45分～16時00分			
【後期】 ※A日程又はB日程のどちらかへ参加すること			
A日程： 令和8年12月15日（火）14時45分～16時00分			
B日程： 令和9年 2月 2日（火）14時45分～16時00分			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
最終更新日		管理コード	

コース名	応用コース（医師）	対象	医師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和８年５月	総講義時間	約１１時間
定員数	前期１８名／後期３６名（各日程１８名ずつ） ※薬剤師と合わせて		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義受講の上、レポート提出をもって、応用コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定医／指導医 申請予定			
講義の概要とねらい			
抗HIV療法、頻度の高い日和見疾患や性感染症の診療について、ガイドラインに沿って理解するとともに、状況に応じた対処方法を、ライブ講義を通して学び、実際の診療現場で役立つ知識の習得を目指す			
到達目標			
・抗HIV療法および頻度の高い日和見疾患や性感染症に対するガイドラインを理解する ・患者背景に合わせた抗HIV治療薬を選択し、治療の導入、維持療法が可能となる ・頻度の高い日和見疾患や性感染症に対し、適切な診断・治療薬の選択・治療後のフォローができる ・治療困難症例について、適切な時期に専門家へ相談できる			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
	（講義動画名）		（時間）
	安定期の管理		0:14:18
	治療失敗時の対応		0:10:10
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)①		0:19:05
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)②		0:23:13
	結核・非結核性抗酸菌症①		0:10:26
	結核・非結核性抗酸菌症②		0:16:45
	結核・非結核性抗酸菌症③		0:12:41
	結核・非結核性抗酸菌症④		0:19:33
	サイトメガロウイルス感染症		0:22:55
	HHV8感染症		0:24:29
	中枢神経合併症①		0:07:06
	中枢神経合併症②		0:13:19
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと - MSM対策の地域連携のハブ機能		0:25:37
	HIV診療における心理支援の実践		0:22:56
	セクシャルマイノリティへの心理支援		0:30:30
	女性とHIV		0:09:57
	拳児希望者への対応		0:10:37
	母子感染対策		0:15:08
		(合計)	6:47:34

プログラム			
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			
職種別：日和見疾患と抗HIV療法の選択			2:00:00
総 合：多職種合同による事例検討（グループワーク）			1:30:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約100字程度で作成）			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 ※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します			
【前期】 日程： 令和8年 9月10日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
【後期】 ※A日程又はB日程のどちらかへ参加すること			
A日程： 令和8年12月17日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
B日程： 令和9年 2月 4日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
※ライブ講義はグループワークを予定しております。無断欠席をされますと、同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2年間研修受講停止となりますのでご注意ください。			
最終更新日		管理コード	

コース名	応用コース（薬剤師）	対象	薬剤師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和８年５月	総講義時間	約１１時間
定員数	前期１８名／後期３６名（各日程１８名ずつ） ※医師と合わせて		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、応用コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会・日本病院薬剤師会 認定薬剤師／専門薬剤師			
講義の概要とねらい			
HIV感染症に従事している実務経験者を対象とした講義内容になっています HIV感染症の管理、日和見感染症治療、周産期対応などの治療だけでなく、HIV感染症ケア全般について、より実践的な内容を学習します			
到達目標			
・ HIV感染症の管理について理解する ・ HIV感染症と薬害について学ぶ ・ 日和見感染症の治療、管理について学習する ・ HIV感染症患者のサポートについて学習する ・ HIV感染症とメンタルヘルスについて理解する ・ HIV感染女性の妊娠、出産による安全性を確保するため、周産期の対応について学習する			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
	(講義動画名)		(時間)
	安定期の管理		0:14:18
	治療失敗時の対応		0:10:10
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)①		0:19:05
	ニューモシスチス肺炎(カリニ肺炎)②		0:23:13
	結核・非結核性抗酸菌症①		0:10:26
	結核・非結核性抗酸菌症②		0:16:45
	結核・非結核性抗酸菌症③		0:12:41
	結核・非結核性抗酸菌症④		0:19:33
	サイトメガロウイルス感染症		0:22:55
	HHV8感染症		0:24:29
	中枢神経合併症①		0:07:06
	中枢神経合併症②		0:13:19
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと - MSM対策の地域連携のハブ機能		0:25:37
	HIV診療における心理支援の実際		0:22:56
	セクシャルマイノリティへの心理支援		0:30:30
	女性とHIV		0:09:57
	拳児希望者への対応		0:10:37
	母子感染対策		0:15:08
		(合計)	6:47:34

プログラム			
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			
職種別：日和見疾患と抗HIV療法の選択			2:00:00
総 合：多職種合同による事例検討（グループワーク）			1:30:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約100字程度で作成）			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 ※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します			
【前期】 日程： 令和8年9月10日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
【後期】 ※A日程又はB日程のどちらかへ参加すること			
A日程： 令和8年12月17日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
B日程： 令和9年 2月 4日（木）			
職種別：10時00分～12時00分／総合：15時30分～17時00分			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
※ライブ講義はグループワークを予定しております。無断欠席をされますと、同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2年間研修受講停止となりますのでご注意ください。			
最終更新日		管理コード	

コース名	応用コース（看護師）	対象	看護師（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和８年５月	総講義時間	約１０時間
定員数	前期６名／後期１２名（各日程６名ずつ）		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、応用コースの修了を認定する			
各団体　認定単位数			
日本エイズ学会　認定HIV感染症看護師・HIV感染症指導看護師　申請予定 ※本コースは、日本エイズ学会が指定する応用レベル研修に相当します			
講義の概要とねらい			
講義,ロールプレイによる疑似体験,グループワークの構成とする。HIV看護の専門的な知識の獲得と患者面談のスキルの習得、また多職種の役割を理解しチーム医療の一員として活動するスキルを学ぶ			
到達目標			
・ HIV看護の専門的な知識を習得し、根拠に基づいたケア実践ができる ・ HIV感染症患がおかれた環境や人間関係、価値観などが理解できる ・ HIV感染症の慢性経過を踏まえ、慢性看護の視点を融合させた看護が理解できる ・ チーム医療でのHIV感染症看護師の役割や活動が理解できる			
プログラム			
①　オンデマンド講義動画			
	（講義動画名）		（時間）
	安定期の管理		0:14:18
	治療失敗時の対応		0:10:10
	HIV看護 応用 セルフケア支援		0:14:33
	薬害被害者の患者理解		0:16:58
	薬害HIV感染者の看護 外来編		0:12:12
	薬害HIV感染者の看護 入院編		0:16:35
	HIV看護 サポート形成支援		0:12:51
	HIV看護 問診の取り方		0:11:55
	継続看護		0:12:38
	受診継続支援		0:16:15
	高齢期の療養支援		0:13:47
	薬害HIV感染者とその家族への心理支援		0:19:56
	セクシュアルマイノリティへの心理支援		0:30:30
	女性への心理支援		0:19:20
	薬害エイズ事件と裁判和解		0:16:52
	HIV医療体制の確立とACC設置		0:16:00
	ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景		0:21:03
	ピアサポート～MSMへの理解とその背景		0:26:50
	感染管理　標準予防策について		0:22:56
	COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み		0:18:04
	コミュニティセンターaktaが取り組むこと　　- MSM対策の地域連携のハブ機能		0:25:37
	HIV診療における心理支援の実践		0:22:56
	女性とHIV		0:09:57
	拳児希望者への対応		0:10:37

プログラム			
① オンデマンド講義動画			
	(講義動画名)		(時間)
	母子感染対策		0:15:08
		(合計)	7:07:58
② ライブ講義 ※職種別および総合の両方へ参加が必須			
	職種別：ロールプレイ		1:00:00
	総 合：多職種合同による事例検討（グループワーク）		1:30:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1000字程度で作成）			
			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義 ※ 総合は、各日程ともに開始10分前にオリエンテーションを実施します			
【前期】 日程： 令和8年9月10日（木）			
職種別：14時00分～15時00分／総合：15時30分～17時00分			
【後期】 ※A日程又はB日程のどちらかへ参加すること			
A日程： 令和8年12月17日（木）			
職種別：14時00分～15時00分／総合：15時30分～17時00分			
B日程： 令和9年 2月 4日（木）			
職種別：14時00分～15時00分／総合：15時30分～17時00分			
（後期は、希望日程を伺いますが、希望者多数の場合にはA・Bのいずれかの日程になります）			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
※本コースはHIV診療領域で実務をおこなっている看護師を対象とした研修です。受講枠に制限がありますので、現在HIV感染症患者への対応をしている方に優先して受講いただいております。			
※ライブ講義はグループでのロールプレイ及びグループワークを予定しております。無断欠席をされますと、同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2年間研修受講停止となりますので、ご留意ください。			
最終更新日		管理コード	

コース名	基礎コース看護Plus	対象	看護職等（基礎コース修了者のみ）
公開時期	令和8年5月	総講義時間	約2時間
定員数	なし		
講義形式	オンデマンド講義動画／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画を受講し、レポート提出をもって、基礎コース看護Plusの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定HIV感染症看護師・HIV感染症指導看護師 申請予定			
講義の概要とねらい			
・基礎コースに加え、患者を取り巻く背景の理解とHIV看護に関する講義 ・HIV患者の背景を理解し、HIV看護の多角的な側面を捉えることができる			
到達目標			
・HIV患者の背景を理解を深め、療養を支えるHIV看護活動が理解できる ・患者がおかれた社会的背景や患者支援団体の支援について理解する			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
		(講義動画名)	(時間)
		HIV看護 応用 セルフケア支援	0:14:33
		薬害被害者の患者理解	0:16:58
		HIV看護 サポート形成支援	0:12:51
		継続看護	0:12:38
		薬害エイズ事件と裁判和解	0:16:52
		ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景	0:21:03
		HIV診療における心理支援概論☒	0:15:09
		(合計)	1:50:04
② レポート			
1. ①講義での学び ②業務にどのように活かせるかについて500字程度で作成			
2. 研修に対する感想や意見を約100字程度で作成			
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
オンデマンド講義動画視聴期限までにすべての動画を視聴すること			
② レポート			
オンデマンド講義動画視聴後、期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
最終更新日		管理コード	

コース名	心理職（カウンセラー）コース	対象	心理職
公開時期	令和 8 年 5 月	総講義時間	約 7 時間
定員数	1 5 名		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、心理職（カウンセラー）コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会が定める資格更新ポイント			
講義の概要とねらい			
HIV感染症診療に初めて携わる心理職及びHIV感染症の心理臨床に携わって間もない心理職を対象にしたコースである HIV感染症の心理臨床全般における基礎知識を学ぶ			
到達目標			
・ 講義の受講を通して、HIV感染症診療の心理支援における基礎的な知識を習得する ・ HIV陽性者に特徴的な心理社会的な背景を理解し、多職種での協働を含めた心理支援について考えることができる ・ HIV感染症の心理臨床における新たな気づきや疑問を持ち、それについて考察できる			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
		(講義動画名)	(時間)
		はじめに	0:06:55
		HIV感染症概論	0:27:30
		HIV感染症診療における看護師の役割	0:13:25
		HIV診療における薬剤師の役割①	0:14:52
		HIV診療における社会資源の活用	0:22:17
		HIV診療における心理職の役割① HIV感染症と精神疾患	0:21:30
		HIV診療における心理職の役割② 心理職の役割	0:12:14
		HIV感染症診療におけるメンタルヘルスケア	0:12:08
		HIV診療における心理支援の実際	0:22:56
		HIV診療における心理支援概論	0:15:09
		HIV感染症患者の心理① 治療過程	0:25:12
		HIV感染症患者の心理② ライフサイクル	0:23:19
		薬害HIV感染者とその家族への心理支援	0:19:56
		セクシャルマイノリティへの心理支援	0:30:30
		女性への心理支援	0:19:20
		薬害HIV感染者の現状と救済医療	0:23:06
		(合計)	5:10:19
② ライブ講義（HIV感染症心理臨床における架空の事例検討 *グループワーク）			1:30:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約100字程度で作成）			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和8年10月1日（木）14時00分～15時30分			

② ライブ講義（HIV感染症心理臨床における架空の事例検討 *グループワーク）

1:30:00

③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約 1 0 0 字程度で作成）

0:30:00

実施スケジュール			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
※心理職以外の医療従事者からの申し込みも受け付けるが、選考が必要な場合は心理職を優先する場合がある。			
※ライブ講義はグループワークを予定しております。無断欠席をされますと、同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2年間研修受講停止となりますので、ご注意ください。			
最終更新日		管理コード	

コース名	地域支援者コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和 8 年 5 月	総講義時間	約 4 時間半
定員数	なし		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、地域支援者コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師 申請予定			
講義の概要とねらい			
HIV感染者の地域支援に必要な基礎知識や地域医療連携の実践例について学び、HIV感染者の地域医療の支援の実際に役立てる			
到達目標			
・ HIV感染症の治療、感染対策、支援内容について基礎的な知識を取得する			
・ HIV感染症患者が利用できる社会制度を理解することができる			
・ HIV感染症患者の特徴を理解し、在宅療養に必要な支援を提供するため多職種の役割を理解することができる			
・ HIV感染症患者の地域支援の実際を学び、自施設で受け入れる際のイメージを持つことができる			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
		(講義動画名)	(時間)
		はじめに	0:06:55
		HIV感染症概論	0:27:30
		HIV感染症概論感染症患者の在宅療養支援	0:12:46
		HIV診療における社会資源の活用	0:22:17
		HIV感染症患者の心理① 治療過程	0:21:30
		HIV感染症患者の心理② ライフサイクル	0:12:14
		感染管理 標準予防策について	0:22:56
		事例 認知症を合併したHIV感染者の支援を振り返って①	0:17:36
		事例 認知症を合併したHIV感染者の支援を振り返って②	0:22:53
		(合計)	2:46:37
		② ライブ講義（事例検討）	1:30:00
		③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約 1 0 0 字程度で作成）	0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約 1 ～ 2 週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和 8 年 1 0 月 1 5 日（木） 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 3 0 分			
③ レポート			
ライブ講義より約 1 週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
※ライブ講義はグループワークを予定しております。無断欠席をされますと、同グループの他受講者へ迷惑となりますため、やむを得ず欠席される場合は、事前に必ず事務局までご連絡ください。ライブ講義の無断欠席は、2 年間研修受講停止となりますので、ご注意ください。			
最終更新日		管理コード	

コース名	歯科医療従事者コース	対象	歯科従事者
公開時期	令和 8 年 5 月	総講義時間	約 5 時間
定員数	1 5 名		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、歯科医療従事者コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
なし			
講義の概要とねらい			
HIV感染症診療に携わる歯科医療従事者を対象に、HIV感染症に関する歴史・背景と支援方法、歯科診療時に必要な知識を学ぶ			
到達目標			
・薬害エイズ事件の歴史と、HIV感染者の背景に関して理解する ・歯科診療に必要なHIV感染症に関する知識を習得する ・講義受講と動画視聴にて、歯科診療時の感染対策に関する知識を習得する			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
		(講義動画名)	(時間)
		薬害エイズ事件と裁判和解	0:16:52
		HIV医療体制の確立とACC設置	0:16:00
		ピアサポート～HIV陽性者への支援とその背景	0:21:03
		ピアサポート～MSMへの理解とその背景	0:26:50
		COVID-19のインパクトのなかでのMSMへの検査普及の取り組み	0:18:04
		コミュニティセンターaktaが取り組むこと - MSM対策の地域連携のハブ機能	0:25:37
		歯科 総論①	0:08:52
		歯科 総論②	0:23:28
		歯科 各論①	0:19:36
		歯科 各論②	0:28:11
		歯科 動画（準備・診療・片付け）	0:16:57
		(合計)	3:41:30
		② ライブ講義（医師・歯科医師によるQ&Aセッション）	1:00:00
		③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約1 0 0 字程度で作成）	0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約1～2週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和8年1 0 月 2 6 日（月） 1 6 時 0 0 分～1 7 時 0 0 分			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
最終更新日		管理コード	

コース名	周産期小児コース	対象	医療従事者（全職種）
公開時期	令和８年５月	総講義時間	約４時間
定員数	５０名		
講義形式	オンデマンド講義動画／ライブ講義／レポート		
修了認定要件			
オンデマンド講義動画およびライブ講義を受講し、レポート提出をもって、周産期小児コースの修了を認定する			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会 認定医／指導医 申請予定 日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師 申請予定 日本周産期・新生児医学会 専門医（旧制度） 申請予定			
講義の概要とねらい			
HIV感染症患者の産科、小児科診療に関する講義動画と質疑応答を中心としたライブ講義とする HIV母子感染予防対策のマニュアルやガイドラインに基づいた学習内容だけでなく、経験する機会が少ない施設でも実際の分娩場面の動画を視聴してもらうことで、臨床実践にすぐに活用できる			
到達目標			
・ HIV感染症と妊娠・分娩に関する基本知識が取得できる ・ HIV母子感染予防対策の実践に必要な産科・小児・助産の知識や技術を習得できる ・ HIV感染妊婦の周産期管理に必要な感染症科、産科、小児科、助産師などの連携が理解できる ・ 妊娠や出産を希望するHIV感染者への支援について理解できる			
プログラム			
① オンデマンド講義動画			
	(講義動画名)		(時間)
	はじめに		0:06:55
	HIV感染症概論		0:27:30
	女性とHIV		0:09:57
	拳児希望者への対応		0:10:38
	HIV感染症妊婦の産科管理		0:27:47
	HIV感染妊婦から出生した児の管理①		0:05:57
	周産期・小児コース小児科資料映像		
	：分娩時の母子感染症処置と新生児蘇生法		
	HIV感染妊婦から出生した児の管理②		0:12:24
	HIV感染妊婦の周産期ケアと分娩（病棟）		0:15:45
	周産期・小児コース助産師資料		0:12:35
	：HIV患者出産における助産師の動き		
	HIV感染妊婦に対する支援		0:11:05
		(合計)	2:20:33
② ライブ講義（ミニ講義、事前・当日質問のQ&A、ディスカッション）			1:00:00
③ レポート（ライブ講義受講後に研修参加の感想や意見を約１００字程度で作成）			0:30:00
実施スケジュール			
① オンデマンド講義動画			
参加するライブ講義日程の約１～２週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること			
② ライブ講義			
日程： 令和８年１０月３０日（金） １４時００分～１５時００分			

実施スケジュール			
③ レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、提出すること			
備考			
最終更新日		管理コード	